

輪島市監査公表第36号

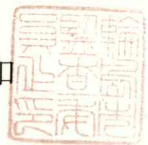
地方自治法第199条第4項の規定により執行した監査の結果について、同条第9項の規定に基づき、次のとおり公表します。

平成30年1月31日

輪島市監査委員 高野 哲男



輪島市監査委員 漆谷 豊和



定期監査結果報告

1 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく監査

2 監査実施日及び監査対象課

平成30年1月24日（水） 教育委員会学校教育課

3 監査を実施した監査委員

輪島市監査委員 高野 哲男

4 監査の範囲及び方法

監査対象課の財務に関する事務の執行が適切かつ公正で効率的に行われているかについて監査を行うものである。

今回はあらかじめ提出を求めた平成29年度監査資料（平成29年4月から11月まで）に係る事務事業全般及び平成28年度関連分の監査資料を中心に、担当職員から説明を聴取して実施した。

また、行政監査の視点に立った監査もあわせて実施した。

5 監査の結果等

監査した財務に関する事務の執行については、おおむね適正に処理されていると認められた。監査対象課に対しては、執行時に次のとおり意見を述べさせていただいたことを申し添える。

○学校教育課として、「学校教育研究推進事業」や「学力向上推進事業」、ケーブルテレビを通じての「テレビ寺小屋事業」など、学力向上や教師の指導力を高めるために、様々なきめ細かな施策が行われている。さらに、平成32年度より小中学校の英語教育において新しい学習指導要領が実施されると伺った。児童・生徒の減少など課題は多いものの、学校との連携を図りながら、より充実・向上した教育が進められることを期待したい。

○育英資金貸付返済金については、返済の遅れについて諸般の事情が考えられるものの、将来的に滞納繰越金が増えていくことがないように、具体的な計画を立て対策に取り組んでいただきたい。

なお、口頭で指示した軽微な事項については記述を省略する。